

誘導保育

第十三週

七夕祭り

凡て年少組と同じ調子であるけれど、子供達の爲す仕事は、何事なしにガッチリ出来る。年少組の所にくたく書き連ねてあれば、こゝでは何も言ふ事もない。

第十四週

唱歌遊戯

第十三週

唱歌 二回

波よ来い来い(小學唱歌七十一曲集)

もうすぐ楽しい夏休み。海が、波が、みんなを待つてる。去年の夏の思出もなつかしく、はるか心は海へ。こ

空欄になつて居るけれども、何もしないのではない。おそらく例外なしに終りの集り、お話し唱歌の會式のものか催される、もうぢき、長いお休みが来る云ふのであるから、共に楽しみ別れを惜しむ云ふ心持を表はさずには居られないのである。この會に就いても凡て年少組の時と同じ調子。併し内容は年長組である故に自ら異なる事勿論である。

の可愛い歌にたくして、子供たちのひたむきな今の氣持を靜かにうたはう。

遊戯 二回

波よ来い来い(記事参照)

波よ来い来い(記事参照)氣持を表はして、無邪氣に輕や

かに取扱ひたい。

第十四週

唱歌 一回

今までに習つた歌の中で、子供たちの好きな歌を尋ねてみんなで歌ふのもよし、一人づゝ歌はせるのもよい。

遊戯 一回

これも子供たちにきいて見て、好きなものを何でもする。もう九月までみんなと一緒に遊ぶも出来ないのだから。あれもこれも忙しい。

波よ來い來い 戸倉ハル氏振付
小學唱歌七十一曲集

準備 圓周を作り内方に向く。

ナミヨコイコイ

圓の中心に向つて四歩進む、兩手は下向に前にあげ波の様に動かし乍ら進む。

ココマデコイ

前と同じ動作で後すざりをし元の位置にかへる。

アンヨノトコマデ

手を腰にし、右足の踵を半歩程右斜前に出し、すぐ元に戻す。次に左足の踵を左斜前に出しすぐ元に戻す。

ヤツテコイ

前と同じ動作を右、左、ミ一回づゝ行ふ。

シロイオクツラ

皆手をつなぎ圓心に向つて左足から四歩進む、四歩目の足は右足を踵だけ半歩右斜前に出すこまにする。

トリニコイ

後すざりにこきざみに歩き、元の位置に歸る。この時手ははなす。

ナミヨコイコイココマデコイ

一番ミ同じ。

オヒザノウヘマデ

圓の内方をむき、互に手をまじり、右足を膝を曲げて前にあげる、次に左足をあげる。

ヤツテコイ

前と同じ動作を、右、左、ミ一回づゝ行ふ。

アカイバケツラ

手をまつたまゝ中心に向つて四歩進み、四歩目の時、上體を屈め、下にあるバケツを兩手でかゝへる様にする。

トリニコイ

バケツをかゝへたまゝ、屈み腰で後にさがり元の位置に歸る。

ナミヨコイコイコマデコイ

一番ミ同じ。

テノナルトコマデ

談話

第十三週

物いふ木

お姫様が、魔法にかゝつて、木に化けて森の中にあるミ、それを王様が探し出してもこの人間にする話。後の風琴物語と共に、不思議な力が一編を終始してゐて、いさゝかの矛盾のないいゝ話。

星の話

兩手を體の右下に持つてゆき、拍手四回行ふ。同じ動作を左にも行ふ。

ヤツテコイ

前ミ同じ動作を右、左ミ一回づゝ行ふ。

ドンドンザブリト

圓の中心に向ひ、ミび込む様な形を二回行ひ乍ら進む。

ヨセテコイ

元の位置に後すざりにこきざみに走り乍ら戻る。

勿論星を特に取り出していふのでは無く、七夕まつりに關聯したもの。年少組では星の話はしなかつたが、この頃にもなれば、七夕さまが、星を祝福する祭りである所以を知らせる必要もある。又夏の晴れた大空に眩く星の數々、天の川なきの話をして、今晚にでもお庭に出てお家の方達と一緒に見てごらんなきいゝいふ。